

熊本駅前東 A 地区市街地再開発事業
情報交流施設基本計画(素案)

“訪れる人の好奇心をくすぐる **知の拠点の形成**” を目指して

情報交流施設 を整備します

情報交流施設の概要

熊本駅周辺整備事業における東 A 地区の位置づけ

熊本駅東口の正面に位置する東 A 地区では、現在、市が事業主体となって民間の活力を活かした市街地再開発事業を進めており、この事業で建設される再開発ビルの中に情報交流施設を整備するものです。完成は九州新幹線鹿児島ルートの特急全線開業となる平成 23 年春を予定しています。

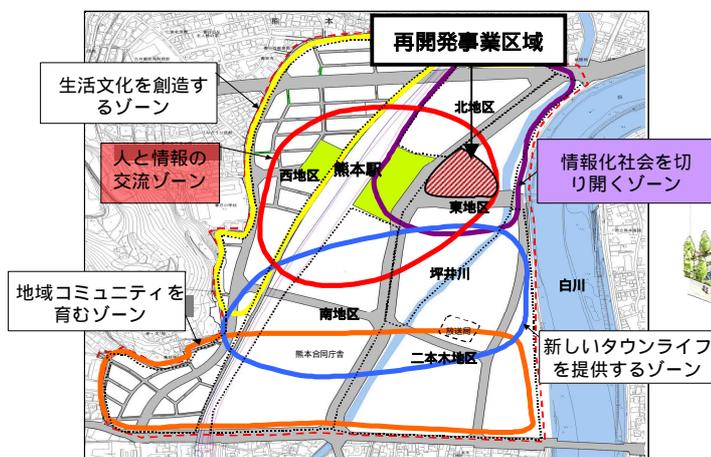
熊本県と熊本市は新幹線全線開業を見据え、平成 17 年 6 月に共同で「熊本駅周辺地域整備基本計画」を策定しました。

この計画では駅東側を「九州・熊本の情報発信の場」として整備する方針が示され、駅東側正面の東 A 地区は「人と情報の交流ゾーン」「情報化社会を切り開くゾーン」に位置づけられています。

基本コンセプト

このようなことから、情報交流施設の基本コンセプトを下記のとおりとしました。

人、情報、文化が交流し、豊かさと活力を生み出す
『情報交流拠点』



土地利用ゾーニング図

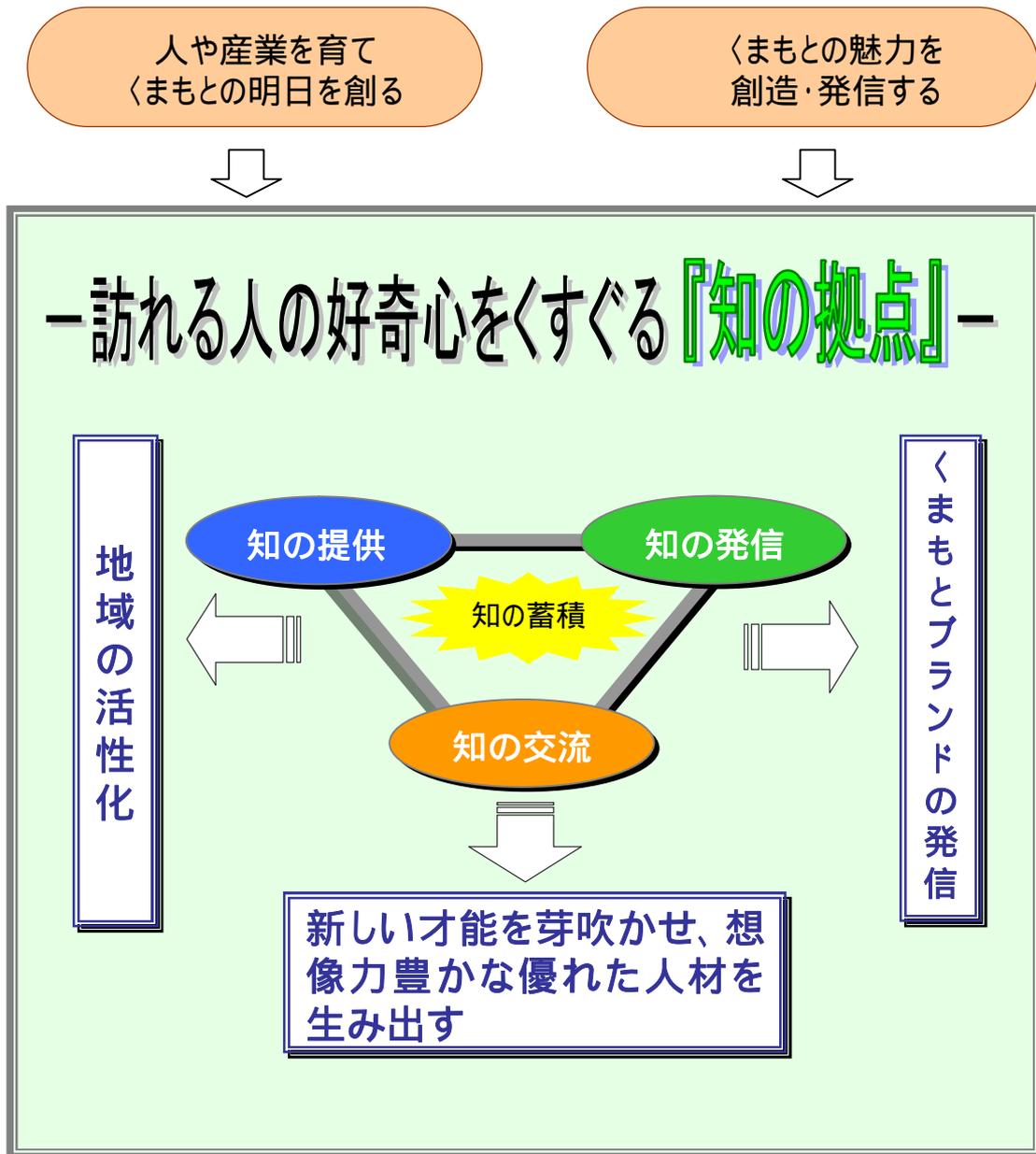


平成 30 年ごろ (駅舎から見た東口のイメージ)

情報交流施設の目指す姿

県都の陸の玄関口である熊本駅前を、魅力と活力を創出する起点とするために、再開発ビルの他の施設や周辺施設と相互に連携しながら駅周辺の発展と熊本地域全体の活性化に寄与する情報交流施設を目指します。

整備の視点



“知”とは「よく知ること、知らせること」、「悟ること、知恵」（広辞苑）を意味します。

単に知識のみならず、先人の“知恵”を大切に受け継ぎ、活力ある熊本創りに生かします。

情報交流施設の機能

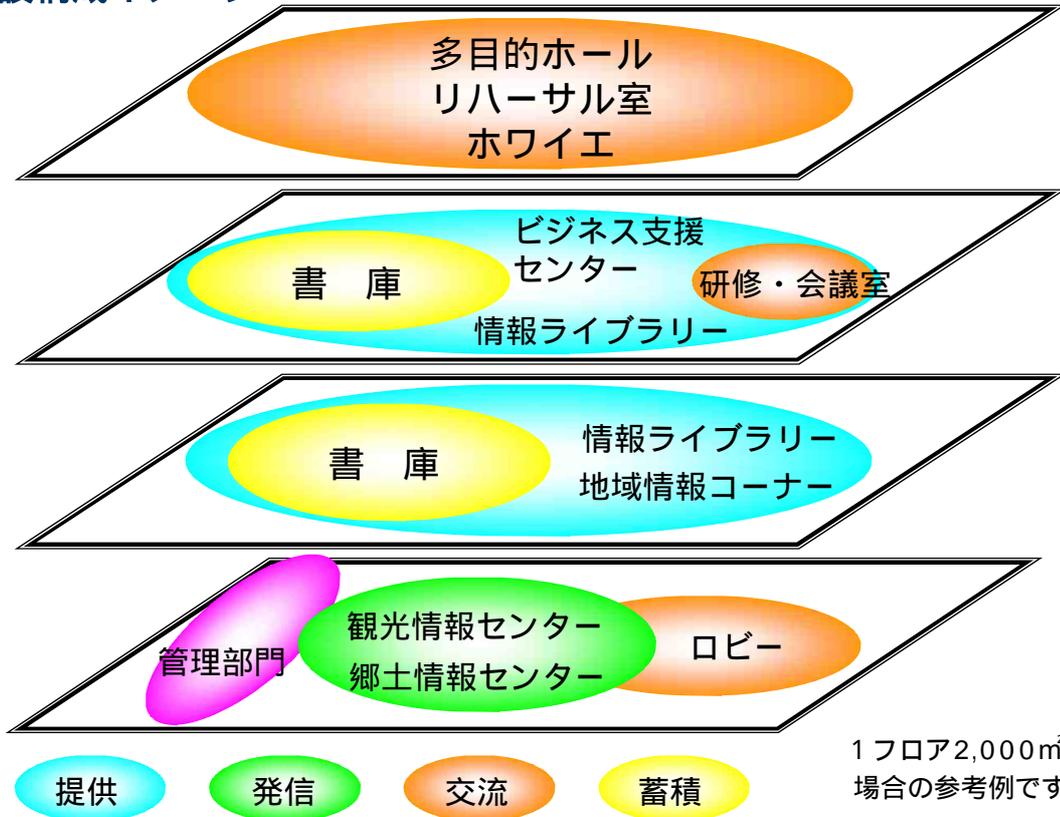
機 能	整備方針	機能構成 主な提供サービス等
<p>知の提供 1,900㎡程度</p>	<p>様々な知の集積を図り、豊富な情報を提供することにより、市民をはじめ訪れる人の知的欲求を満たし、創造力を育む場を提供します。</p> <p>誰もが気軽に訪れることができるよう、楽しい空間を演出するとともに自由に学べ、自然に知識が身につくような工夫を行います。</p>	<p>ビジネス支援 起業家支援サービス 経営支援サービス 産学連携サービス 就業支援サービス</p> <p>地域情報の提供 生活情報サービス 行政情報サービス</p> <p>情報ライブラリー 利用者への高度支援サービス 閲覧・貸出サービス</p>
<p>知の発信 700㎡程度</p>	<p>訪れる人、訪れたい人に熊本の持つ歴史・文化や自然環境などを紹介し、熊本の魅力、あるいは熊本らしさを再発見してもらいます。</p> <p>本市のみならず熊本県内、九州圏域の観光情報を発信し九州観光の基点としての役割を担います。</p>	<p>郷土情報の発信 歴史・文化の情報発信 水と緑の都の情報発信</p> <p>観光情報の発信 熊本の観光情報発信 九州圏域の情報発信</p>
<p>知の交流 2,800㎡程度</p>	<p>人との交流により情報や知識を交換し、知的触発を促すとともに人とのネットワークづくりを支援します。</p> <p>人々が集い、学び、情報を活用する「出会いとふれあい」の場を提供します。</p>	<p>多目的ホール</p> <p>展示・研修</p> <p>ロビー</p>
<p>知の蓄積 2,000㎡程度</p>	<p>様々な情報（インターネットからの情報、一般図書、映像、チラシ等広告物など）を収集し、ニーズに応じて使いやすいよう整理・分類するなど、「知の蓄積」の充実化をはかり、「知の提供」「知の発信」「知の交流」を支援します。</p>	

専用面積 8,000㎡程度

各施設の面積については、現時点での想定であり、詳細設計により変更が生じます。

情報交流施設のイメージ

施設構成イメージ



1フロア2,000㎡とした場合の参考例です。

整備効果のイメージ



《パブリックコメントの募集について》

応募方法：所定の用紙にご記入のうえ、郵送、FAX（324-1713）または電子メールで〒860-8601 企画課（328-2035）へ 電子メールアドレスkikaku@city.kumamoto.lg.jp